| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 工　　事<br>番　　号 | | | | | | |

| | |
|---|---|
| 設計年度 | 令和６年度 |
| 施工月日 | 令和　　年　　月　　日 |
| 施工方法 | 請　　負 |
| 工事期間 | |

# 耐震性貯水槽新設工事（田野浦二丁目）

消防施設整備事業

三原市 田野浦二丁目

**仕　様　書**

| 工　事　概　要 | 起　工　理　由 |
|---|---|
| 施工内容<br>耐震性貯水槽新設工<br>　耐震性貯水槽設置　40m3　N=1基<br>　標識設置　N=1基 | |

三　　原　　市

# 特　記　仕　様　書（　個　別　事　項　）

## 第1章　総則

### 第1節　適用

1　本特記仕様書は、三原市田野浦二丁目　耐震性貯水槽新設工事（田野浦二丁目）に適用する。

2　本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

**・土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**

※　土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/

・耐震性貯水槽の設計手引き及び管理マニュアル（（一財）日本消防設備安全センター）

・その他関連規格類

### 第2節　情報共有システム

1　本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。

2　本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html

3　監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。

4　なお、工事完成時については、提出する必要のある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品１部を紙媒体により提出すること。

5　受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

### 第3節　法令及び条例等の遵守

1　次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。

(1)　工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」

(2)　上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」

(3)　上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」

2　「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。

3　「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

### 第4節　週休２日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休２日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休２日工事等実施要領」に基づき実施するものとする。

## 第5節　建設副産物

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-19 建設副産物「4. 再生資源利用計画」、「5. 再生資源利用促進計画」及び「6. 実施書の提出」によらず、次のとおり取り扱う。

1　再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2　計画の掲示及び公表

受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3　実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。

4　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

(1)　工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2)　再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア　当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ　当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3)　上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

9　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
(4) 建設発生土の搬出量
(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11　受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12　受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

# 第2章　施工条件

## 第1節　工程

1　施工時期・時間の制限

| | |
|---|---|
| 施工内容 | 工事全般 |
| 時期 | 全工事期間 |
| 時間 | 作業可能時間は、原則８：３０～１７：００とし、イベント等で公園を使用する場合は、作業を一時中断すること。 |
| 施工方法・理由 | 作業期間中は公園利用者の安全を最優先し、作業日程については事前に監督員と調整し作業可能な日および時間帯の調整を十分に行い安全対策をした上で施工を行うこと。また、事前に作業日程を協議し地域へ周知すること。 |

## 第2節　材料

1　耐震性貯水槽

設置する貯水槽は、（一財）日本消防設備安全センターが認定する製品を使用すること。
本工事において、事前に使用する耐震性貯水槽の構造計算書を監督員に提出し承諾を得ること。
本工事完了後、設置した耐震性貯水槽に対する認定証（（一財）日本消防設備安全センター）の原本を速やかに監督員に提出すること。

2　水張り検査

水張り検査を行うこと。
なお、異常を確認した場合は、受注者は原因を確認し、調査計画書を監督員に提出し補修すること。

## 第3節　用地

1　現場の復旧

原形復旧とする。

## 第4節　公害対策

1　粉じん対策

| | |
|---|---|
| 内容 | 清掃作業において粉じんが飛散する場合は、粉じん防止の散水等を随時行うこと。 |
| 期間 | 土砂積込作業 |

第5節　安全対策

1　交通誘導警備員・警戒船・保安要員

工事期間中、交通誘導警備員を2（人／日）見込んでいる。

第6節　工事用道路

1　一般道路

| | |
|---|---|
| 使用期間 | 工事施工期間 |
| 使用時間 | ８時～１７時 |
| 工事中･後の処置 | 随時　清掃、工事後　舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督職員と協議すること。設計変更の対象とする。） |

第7節　建設副産物

1　建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））　（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。
また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所　株式会社アヴァンセ沼田東町納所リサイクルプラント（三原市沼田東町納所409）

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

2　産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m2以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第8節　その他

1　工事用機資材の仮置き

場所　受注者が責任をもって確保すること。

第3章　工事保険等

第1節　法定外の労災保険の付保

1　本工事において，受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2　受注者は，建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3　法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団，（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章　その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

# 工事数量総括表



| 費目・工種明細など | 規格1・規格2 | 単位 | | 数量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本工事費 | | | | | |
| 耐震性貯水槽 | | 式 | | 1 | レベル1 |
| 耐震性貯水槽土工 | | 式 | | 1 | レベル2 |
| 作業土工 | | 式 | | 1 | レベル3 |
| 残土処理工 | | 式 | | 1 | レベル3 |
| 基礎工 | | 式 | | 1 | レベル3 |
| 基礎砕石 | RC-40 | 式 | | 1 | レベル4 |
| 基礎コンクリート | 無筋・鉄筋構造物　18-8-40BB | 式 | | 1 | レベル4 |
| 耐震性貯水槽躯体工 | | 式 | | 1 | レベル3 |
| 躯体工 | 耐震性貯水槽　Ⅰ型　40m3<br>土被り1.00m | 基 | | 1 | レベル4 |
| 耐震性貯水槽設置工 | | 式 | | 1 | レベル3 |
| 設置工 | | 式 | | 1 | レベル4 |
| 小型標識工 | | 式 | | 1 | レベル3 |
| 標識柱 | 支柱φ60.5×2.3×3500 | 基 | | 1 | レベル4 |
| 標識板 | φ600 | 枚 | | 1 | レベル4 |
| 全工種共通仮設 | | 式 | | 1 | レベル1 |
| 仮設工 | | 式 | | 1 | レベル2 |
| 交通管理工 | | 式 | | 1 | レベル3 |

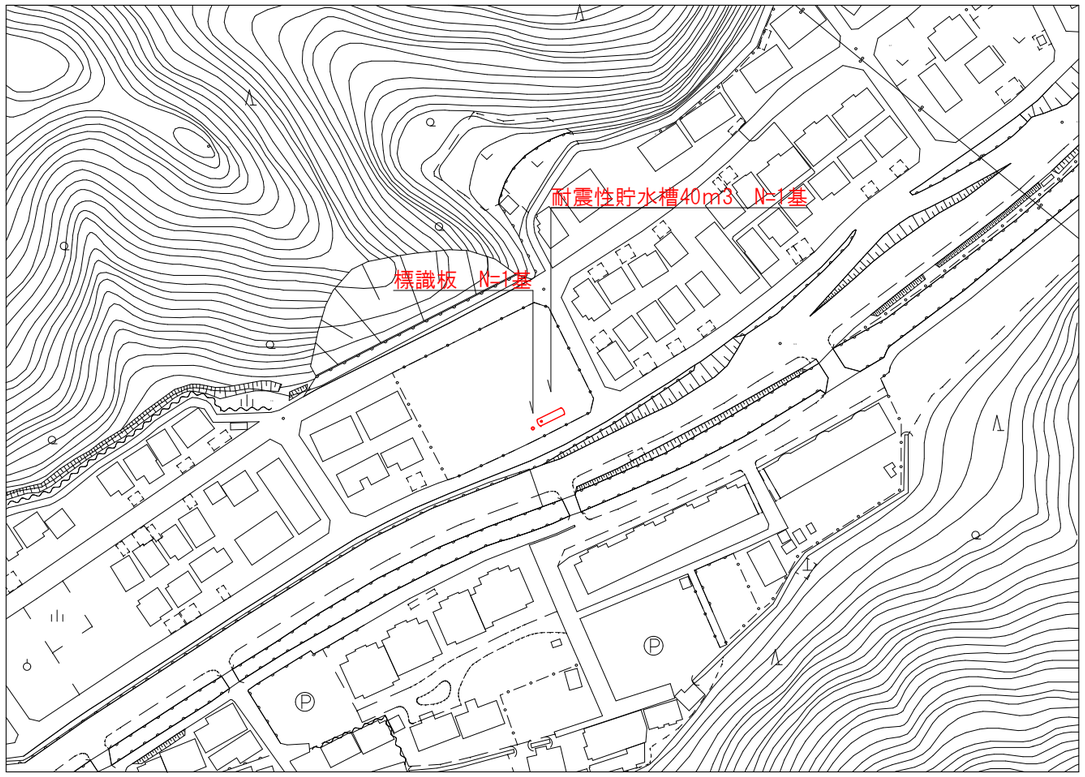
# 工事数量総括表



| 費目・工種明細など | 規格1・規格2 | 単位 | | 数量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 交通誘導警備員 | | 人 | | 16 | レベル4 |
| ＊＊直接工事費＊＊ | | | | | |
| 技術管理費 | | | | | |
| 技術管理費 | | 式 | | 1 | レベル2 |
| 技術管理費 | | 式 | | 1 | レベル3 |
| 土質試験費 | | 式 | | 1 | レベル4 |
| 共通仮設費率分 | | | | | |
| ＊＊共通仮設費計＊＊ | | | | | |
| ＊＊純工事費＊＊ | | | | | |
| 現場管理費 | | | | | |
| ＊＊工事原価＊＊ | | | | | |
| 一般管理費率分 | | | | | |
| 契約保証費 | | | | | |
| 一般管理費計 | | | | | |
| ＊＊工事価格＊＊ | | | | | |
| ＊＊消費税相当額＊＊ | | | | | |
| ＊＊工事費計＊＊ | | | | | |
| ＊＊契約保証費計＊＊ | | | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面番号 | 1／1 | 縮尺 | 図示 |
| 工 種 | 耐震性貯水槽新設工事 | | |
| 種 別 | 設 計 図 | 番号 | 1／1 |
| 路線河川 名 | 田野浦第二公園 | | |
| 工事箇所 | 三原市田野浦二丁目 | | |
| 三 原 市 | | | |

# 平 面 図 S=1:1000




耐震性貯水槽仕様

〔貯 水 槽 形 式〕　耐震性貯水槽　40m3　(一財)日本消防設備センター認定品

〔吸管投入口形式〕　φ600

〔標 識 板 形 式〕　φ600　アルミ板

〔標 識 柱 形 式〕　φ60.5×2.3×3500

〔土被り〕　1.0m

# 参　考　資　料

－耐震性貯水槽新設工事（田野浦二丁目）－

# 総括情報表



| | |
|---|---|
| 変更回数 | 0 |
| 適用単価地区 | 59 三原市 |
| 単価適用日 | 00-06.05.01(0) |
| 諸経費体系 | 1　公共(一般) |

| | 当世代 | 前世代 |
|---|---|---|
| 工種 | 04　道路改良工事 | |
| 施工地域・工事場所区分 | 02　市街地(DID補正) | |
| 復興補正区分 | 00　補正なし | |
| 週休補正区分 | 03　４週８休以上 | |
| 現場事務所等の貸与区分 | 00　補正なし | |
| ＩＣＴ補正区分 | 00　補正なし | |
| 冬期補正係数 | 00　補正なし | |
| 緊急工事区分 | 00　通常工事　０％ | |
| 前払金支出割合区分 | 00　補正無し | |
| 契約保証区分 | 01　金銭的保証(0.04%) | |

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本工事費 | | | | | X1000 |
| 耐震性貯水槽 | 1 | 式 | | | Y1E01　　レベル1 |
| 耐震性貯水槽土工 | 1 | 式 | | | Y1E0106　　レベル2 |
| 作業土工 | 1 | 式 | | | Y1E010601　レベル3 |
| 床掘り<br>土砂 | 250 | m3 | | | Y1E01060102レベル4 |
| 床掘り<br>土砂 標準<br>無し 障害無し | 250 | m3 | | | SPK23040015 00<br>単第0 -0001　表 |
| 埋戻し<br>土砂 | 200 | m3 | | | Y1E01060103レベル4 |
| 埋戻し<br>最小埋戻幅4m以上 | 200 | m3 | | | SPK23040020 00<br>単第0 -0002　表 |
| 基面整正 | 30 | m2 | | | Y1E01060104レベル4 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 基面整正 | 30 | m2 | | | SPK23040017 00<br>単第0 -0003　表 |
| 残土処理工 | 1 | 式 | | | Y1E010110　レベル3 |
| 土砂等運搬<br>土砂 | 30 | m3 | | | Y1E01011002レベル4 |
| 土砂等運搬<br>標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)<br>DID区間有り 距離11.0km以下(8.5km超) | 30 | m3 | | | SPK23040002 00<br>単第0 -0004　表 |
| 残土等処分 | 30 | m3 | | | Y1E01011003レベル4 |
| 【直接工事費に含まれる処分費等】<br>「処分費等」の取扱いによる | | | | | #0041 |
| 建設発生土受入費<br>土砂 | 30 | m3 | | | F0000000001 00 |
| 基礎工 | 1 | 式 | | | Y1E010907　レベル3 |
| 基礎砕石<br>RC-40 | 1 | 式 | | | Y1E01090701レベル4 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 基礎砕石<br>砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下<br>RC-40 | 4 | m2 | | | SPK23040034 00<br>単第0 -0005 表 |
| 基礎コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物　18-8-40BB | 1 | 式 | | | Y1E01090701レベル4 |
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB<br>バックホウ(クレーン機能付)打設 | 1 | m3 | | | SPK23040154 00<br>単第0 -0006 表 |
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB<br>バックホウ(クレーン機能付)打設 | 4 | m3 | | | SPK23040154 00<br>単第0 -0006 表 |
| 型枠<br>一般型枠<br>鉄筋・無筋構造物 | 4 | m2 | | | SPK23040156 00<br>単第0 -0007 表 |
| 鉄筋工<br>SD295_D13<br>一般構造物 [規]10t未満 | 0.19 | t | | | SS000099 00<br>単第0 -0008 表 |
| 耐震性貯水槽躯体工 | 1 | 式 | | | Y3999 レベル3 |
| 躯体工<br>耐震性貯水槽 Ⅰ型 40m3<br>土被り1.00m | 1 | 基 | | | Y4999 レベル4 |
| 【鋼橋門扉等工事原価】<br>共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外]<br>一般管理費[対象] | | | | | #0044 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 耐震性貯水槽<br>Ｉ型 40m3 | 1 | 式 | | | V0001 00<br>単第0 -0009 表 |
| 耐震性貯水槽設置工 | 1 | 式 | | | Y3999 レベル3 |
| 設置工 | 1 | 式 | | | Y4999 レベル4 |
| 本体据付工 | 1 | 式 | | | V0002 00<br>単第0 -0010 表 |
| 小型標識工 | 1 | 式 | | | Y3999 レベル3 |
| 標識柱<br>支柱φ60.5×2.3×3500 | 1 | 基 | | | Y4999 レベル4 |
| 標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式]<br>単柱式 下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装(白色)<br>柱径φ60.5 [規]2基以下 | 1 | 基 | | | SS000067 00<br>単第0 -0011 表 |
| 標識板<br>φ600 | 1 | 枚 | | | Y4999 レベル4 |
| 標識板設置<br>警戒・規制・指示・路線番号標識<br>[規]2基以下 | 1 | 基 | | | SS000223 00<br>単第0 -0012 表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 標識板<br>φ600　取付金具含む | 1 | 枚 | | | F0000000004 00 |
| 全工種共通仮設 | 1 | 式 | | | Y1J01　　レベル1 |
| 仮設工 | 1 | 式 | | | Y1J0101　　レベル2 |
| 交通管理工 | 1 | 式 | | | Y1J010121　レベル3 |
| 交通誘導警備員 | 16 | 人 | | | Y1J01012101レベル4 |
| 交通誘導警備員B | 16 | 人 | | | R0369　　00 |
| ＊＊直接工事費＊＊<br>#0020計=支給品等(材料),無償貸付 | | | | | |
| 技術管理費 | | | | | Z0006 |
| 技術管理費 | 1 | 式 | | | YZZ06　　レベル2 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 技術管理費 | 1 | 式 | | | YZZ06001　レベル3 |
| 土質試験費 | 1 | 式 | | | YZZ06001001レベル4 |
| 簡易支持力測定 | 1 | 式 | | | F0000000005 00 |
| 共通仮設費率分 | | | | | Z0019 |
| 計算情報……<br>対象額……<br>率…… | | | | | |
| ＊＊共通仮設費計＊＊ | | | | | |
| ＊＊純工事費＊＊ | | | | | |
| 現場管理費<br>計算情報……<br>対象額……<br>率…… | | | | | |
| ＊＊工事原価＊＊ | | | | | |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般管理費率分<br>計算情報……<br>対象額……<br>率…… | | | | | 前払補正率… |
| 契約保証費<br>計算情報……<br>対象額……<br>率…… | | | | | 当初請対額<br>当初対象額 |
| 一般管理費計 | | | | | |
| ＊＊工事価格＊＊ | | | | | |
| ＊＊消費税相当額＊＊<br>計算情報……<br>対象額……<br>率…… | | | | | |
| ＊＊工事費計＊＊ | | | | | |
| ＊＊契約保証費計＊＊ | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



床掘り　　SPK23040015　　単第0 -0001　表

土砂 標準　　無し 障害無し　　1　　m3　　当り

機械構成比: 24.08%　労務構成比: 50.56%　材料構成比: 25.36%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 227.74000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| <賃>バックホウ(クローラ型)<br>山積0.8m3(平積0.6)<br>排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音 | 24.08% | | バックホウ<br>クローラ型<br>山積0.8m3(平積0.6m3) | | KTPC00018<br>KTPT00018 |
| 運転手(特殊) | 50.56% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 25.36% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1　土砂<br>C=1　無し<br>E=1　-(全ての費用) | | | B=1　標準<br>D=1　障害無し | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



埋戻し　　SPK23040020　　単第0 -0002　表

最小埋戻幅4m以上　　1　m3　当り

機械構成比: 46.50%　労務構成比: 36.85%　材料構成比: 16.65%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 480.54000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ブルドーザ<br>普通・排1<br>15t級 | 27.15% | | ブルドーザ<br>普通・排1<br>15t級(13～16t) | | MTPC00002<br>MTPT00002 |
| バックホウ(クローラ型)<br>標準型・排2<br>山積0.8/平積0.6m3 | 19.35% | | バックホウ(クローラ型)<br>標準型・排2<br>山積0.8/平積0.6m3 | | MTPC00014<br>MTPT00014 |
| 運転手(特殊) | 36.85% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 16.65% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1　最小埋戻幅4m以上 | | | D=1　-(全ての費用) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



基面整正　　SPK23040017　　単第0 -0003　表

1　　m2　　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 446.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 普通作業員 | 100.00% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



土砂等運搬　　SPK23040002　　単第0 -0004　表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間有り 距離11.0km以下(8.5km超)　1　m3　当り

機械構成比: 46.25%　労務構成比: 38.07%　材料構成比: 15.68%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,718.10000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>10t積級<br>(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む) | 46.25% | | ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>10t積級<br>(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む) | | MTPC00018T1<br>MTPT00018T1 |
| 運転手(一般) | 38.07% | | 運転手(一般) | | RTPC00007<br>RTPT00007 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 15.68% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1 標準<br>C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)<br>E=32 距離11.0km以下(8.5km超) | | | B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)<br>D=2 DID区間有り | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



基礎砕石　　SPK23040034　　単第0 -0005　表

砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比:　5.53%　　労務構成比:　71.60%　　材料構成比:　22.87%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,217.70000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| <賃>バックホウ(クローラ型)<br>山積0.8m3(平積0.6)<br>排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音 | 5.50% | | バックホウ<br>クローラ型<br>山積0.8m3(平積0.6m3) | | KTPC00018<br>KTPT00018 |
| その他(機械) | | | その他(機械) | | EK009 |
| 普通作業員 | 34.31% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 特殊作業員 | 14.98% | | 特殊作業員 | | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 運転手(特殊) | 13.40% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| 土木一般世話役 | 8.42% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| 再生クラッシャラン<br>40～0mm | 17.73% | | 再生クラッシャーラン<br>RC-40 | | TTPC00008<br>TTPT00008 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 5.11% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |

# 施工単価表



基礎砕石　　SPK23040034　　単第0 -0005　表

砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比:　5.53%　　労務構成比:　71.60%　　材料構成比:　22.87%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,217.70000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| その他(材料) | | | その他(材料) | | EZ009 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=3　砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下<br>D=1　-(全ての費用) | | | B=1　RC-40 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート　　SPK23040154　　単第0 -0006　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 4.32%　労務構成比: 37.95%　材料構成比: 57.73%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 29,669.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| <賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付)<br>山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t<br>排1～3,2011,2014 | 4.08% | | バックホウ<br>[クローラ型クレーン付]<br>排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t | | KTPC00006<br>KTPT00006 |
| その他(機械) | | | その他(機械) | | EK009 |
| 特殊作業員 | 11.26% | | 特殊作業員 | | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 普通作業員 | 10.14% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 7.41% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| 運転手(特殊) | 6.90% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| レディーミクストコンクリート指定品<br>呼び強度18,スランプ8,粗骨材40<br>W/C(60%),種別(高炉) | 55.58% | | 生コンクリート<br>高炉 24-12-25(20) W/C 55% | | TTPCD0010<br>TTPT00343 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 2.03% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |

# 施工単価表



コンクリート　　SPK23040154　　単第0 -0006　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 4.32%　労務構成比: 37.95%　材料構成比: 57.73%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 29,669.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| その他(材料) | | | その他(材料) | | EZ009 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | E9999 |
| A=1 無筋・鉄筋構造物<br>C=2 18-8-40BB<br>J=1 - | | | B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設<br>F=2 一般養生<br>K=1 -(全ての費用) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



型枠　　SPK23040156　　単第0 -0007　表

一般型枠　　鉄筋・無筋構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　100.00%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　8,890.10000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 型わく工 | 46.99% | | 型わく工 | | RTPC00010<br>RTPT00010 |
| 普通作業員 | 25.08% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 9.24% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1　一般型枠<br>C=1　-(全ての費用) | | | B=1　鉄筋・無筋構造物 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　　SS000099　　単第0 -0008　表

SD295_D13　　一般構造物［規]10t未満　　1　　t　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 加工・組立【手間のみ】<br>一般構造物 | 1.000 | t | | | |
| 異形棒鋼<JISG3112><br>SD295,D13<br>単位質量0.995kg/m | 1.030 | t | | | 1*1.03 |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | t | | | |
| A=1　-<br>D=1　一般構造物<br>F=2　[規]10t未満 | | | B=2　SD295_D13<br>E=1　-<br>H=1　- | | |
| I=1　-<br>K=1　- | | | J=1　- | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



耐震性貯水槽　　V0001　　単第0 -0009　表

Ⅰ型 40m3　　1　式　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 耐震性貯水槽<br>鋼製，一体型<br>付属品含む | 1 | 基 | | | |
| 鉄蓋<br>φ600　T-8 | 1 | 枚 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 式 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



本体据付工　　V0002　　単第0 -0010　表

1　　式　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 1 | 人 | | | |
| とび工 | 1 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 2 | 人 | | | |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>25t吊,オペレータ付<br>排1～3,2011,2014 | 0.5 | 日 | | | |
| 雑材料 | 22 | % | | | #01 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 式 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式]　SS000067　単第0 -0011　表

単柱式 下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装(白色)　柱径φ60.5 [規]2基以下　1　基　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 標識柱・基礎設置(路側式)【材工共】<br>単柱式(下地亜鉛メッキ＋静電粉体塗装)<br>柱径φ60.5 | 1.000 | 基 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 基 | | | |
| A=1　単柱式<br>C=1　柱径φ60.5<br>F=1　- | | | B=2　下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装(白色)<br>D=3　[規]2基以下<br>G=1　- | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



標識板設置　　SS000223　　単第0 -0012　表

警戒・規制・指示・路線番号標識　　[規]2基以下　　1　基　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 標識板設置【手間のみ】<br>警戒・規制・指示・路線番号標識 | 1.000 | 基 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| 1基当り | | 基 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 基 | | | |
| A=3　警戒・規制・指示・路線番号標識<br>F=1　- | | | D=5　[規]2基以下<br>G=1　- | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

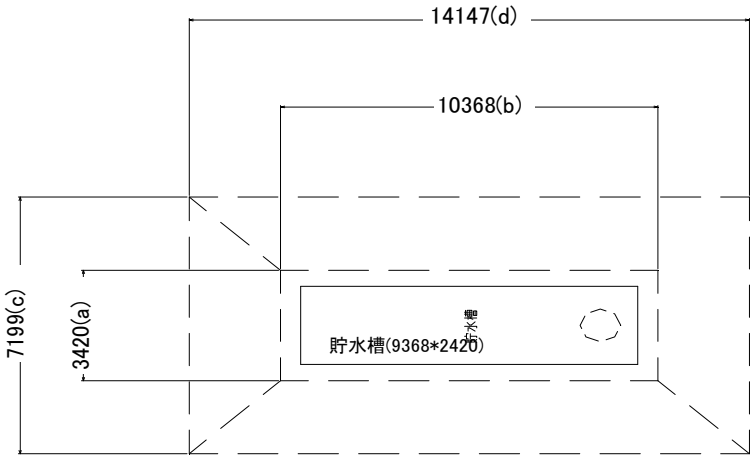
# 数　量　総　括　表

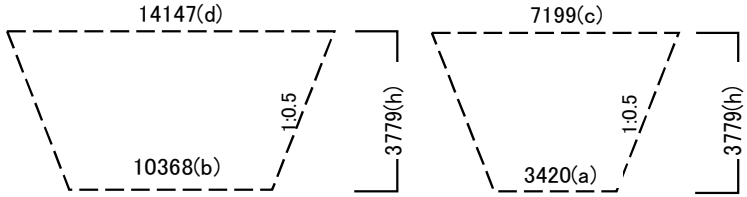
－耐震性貯水槽新設工事（田野浦二丁目）－

**工事数量総括表　耐震性貯水槽新設工事（田野浦二丁目）**

| 工事区分<br>工種 | 種　別 | 細　別 | 規　格 | 単位 | 数　量 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 数　量 | 計上数量 | |
| 耐震性貯水槽新設工事（田野浦二丁目） | | | | | | | |
| 耐震性貯水槽設置工 | | | | | | | |
| | 作業土工 | | | | | | |
| | | 床掘り | 土砂 | ㎥ | 250.6 | 250 | |
| | | 埋戻し | 土砂 | ㎥ | 197.1 | 200 | |
| | | 基面整正 | 土砂 | ㎡ | 29.7 | 30 | |
| | | | | | | | |
| | 残土処理工 | | | | | | |
| | | 残土処理 | 土砂 | ㎥ | 31.6 | 30 | |
| | 基礎工 | | | | | | |
| | | 基礎砕石 | RC-40　t=150㎜ | ㎥ | 4.3 | 4 | |
| | | 均しｺﾝｸﾘｰﾄ | 18-8-40　t=50㎜ | ㎥ | 1.4 | 1 | |
| | | 基礎コンクリート | 18-8-40　t=150㎜ | ㎥ | 3.9 | 4 | |
| | | 型枠 | | ㎡ | 3.8 | 4 | |
| | | 鉄筋工 | D13 | kg | 192.7 | 193 | 192.7/1000=0.19t |
| | | | | | | | |
| | 耐震性貯水槽躯体工 | | | | | | |
| | | 耐震性貯水槽 | Ⅰ型　40㎥ | 式 | 1.0 | 1 | |
| | | | | | | | |
| | 耐震性貯水槽設置工 | | | | | | |
| | | 本体据付工 | | 式 | 1.0 | 1 | |
| | | | | | | | |
| | 標識工 | | | | | | |
| | | 標識柱・標識板設置 | φ60.5×2.3×3500 | 基 | 1.0 | 1 | 亜鉛メッキ |
| | | 防火水槽標識板 | φ600　アルミ板 | 枚 | 1.0 | 1 | |
| | | 基礎ブロック | 500×500×600 | 基 | 1.0 | 1 | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

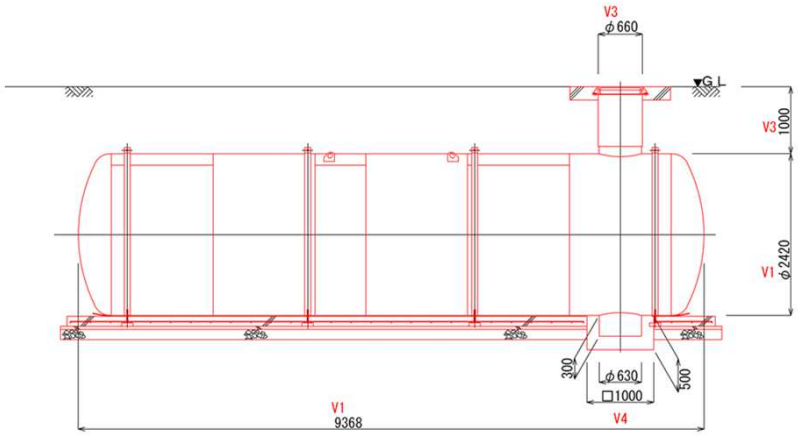
# 土 工 数 量 計 算 書 (1)



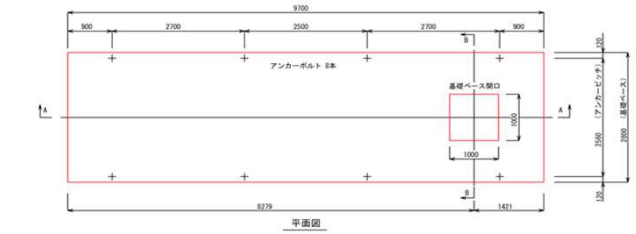

| 種　別 | 計　算　式 | 単位 | 数 量 |
|---|---|---|---|
| 【床掘底面】 | h = 3.78<br>c = 7.20 | | |
| 床掘工 | $V_1 = \frac{h}{6}(ad + bc + 2(ab + dc))$<br>d = 14.15<br>a = 3.42 | | |
| | 躯体短辺 2.42m<br>躯体長辺 9.368m<br>b = 10.37 | ㎥ | 250.4 |
| | 躯体高さ 2.42m<br>ｺﾞﾑｼｰﾄ t=0.09m<br>a = 2.42+0.5+0.5 = 3.420 | | |
| | 均しｺﾝｸﾘｰﾄ t=0.05m<br>基礎コンクリート t=0.15m<br>b = 9.368+0.5+0.5 = 10.368<br>c = a+h = 4.00+3.77 = 7.77 | | |
| | 基礎砕石 t=0.15m<br>土被り 1.0m<br>d = b+h =11.40+3.77 = 15.17<br>h = 2.42+0.09+0.05+0.15+0.15+1.0 =3.78 | | |
| | 基礎と躯体の幅員差 短辺:t=0.266m 長辺:t=0.290<br>短辺余裕幅 0.5+0.5m | | |
| | 長辺余裕幅 0.5+0.5m<br>ﾋﾟｯﾄ外 1.0m | | |
| | ﾋﾟｯﾄ内 0.632m<br>ﾋﾟｯﾄ深さ 0.50m | | |
| 【底設ﾋﾟｯﾄ部】 | | | |
| 床掘工 | V2 = 1.00 × 1.00 × (0.50−0.15−0.05−0.15) | ㎥ | 0.15 |
| | | | |
| | 計 | ㎥ | 250.59 |
| | | | |
| 【基面整正】 | | | |
| 基面整正 | A = 9.90 × 3.00 | ㎡ | 29.7 |
| | | | |
| 【残土処理】 | | | |
| 残土処理 | V = 250.59 − 197.10 / 0.9 | ㎥ | 31.6 |

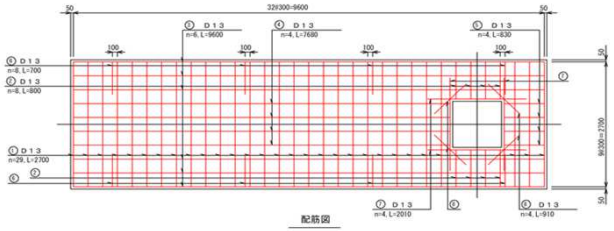
# 土 工 数 量 計 算 書 (2)

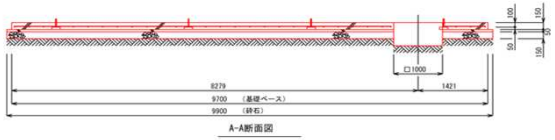


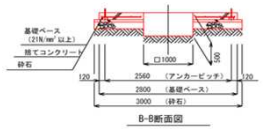

| 種　別 | 計　算　式 | 単位 | 数 量 |
|---|---|---|---|
| 【埋戻工】 | | | |
| 埋戻工B | < 埋戻控除分 > | | |
| (躯体) | $V_1$ = ( 2.420 (※直径) / 2 )² × 9.37 (※延長) × π | m³ | 43.07 |
| (投入孔) | $V_3$ = ( 0.660 (※直径) / 2 )² × 1.00 (※被り) × π | m³ | 0.34 |
| (ピット) | $V_4$ = 1.00 × 1.00 × 0.50 − 0.09 | m³ | 0.41 |
| (基礎工) | $V_5$ = 4.31 ＋ 1.44 ＋ 3.92 (※基礎工数量計算書(3)) | m³ | 9.67 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | 控除計 | m³ | 53.49 |
| | | | |
| 埋戻工B | 250.59 − 53.49 | m³ | 197.10 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

# 基 礎 工 数 量 計 算 書 （3）




| 種　別 | 計　算　式 | 単位 | 数 量 |
|---|---|---|---|
| 【基礎砕石】 | | | |
| RC-40<br>(t=0.15m) | V ＝( 3.00 × 9.90 − 1.00 × 1.00 × 1 )× 0.15 | ㎥ | 4.31 |
| | | | |
| 【均しｺﾝｸﾘｰﾄ】 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ工<br>(t=0.05m) | V ＝( 3.00 × 9.90 − 1.00 × 1.00 × 1 )× 0.05 | ㎥ | 1.44 |
| | | | |
| 【基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ】 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ工<br>（無筋・バックホ<br>(t=0.15m) | $V_1$ ＝( 2.80 × 9.70 − 1.00 × 1.00 × 1 )× 0.15 | ㎥ | 3.92 |
| | ＋ 1.00 ×( 1.52 × 1.52 − 1.3 × 1.3 )× 0.5 | ㎥ | 27.47 |
| | | | |
| 【基礎型枠】 | | | |
| 型枠工 | A ＝( 2.80 × 0.15 ＋ 9.70 × 0.15 )× 2 | ㎡ | 3.75 |
| | | | |
| 【鉄筋工】 | | | |
| 鉄筋 | A ＝ 192.67 | kg | 192.67 |
| D13 | | t | 0.19 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

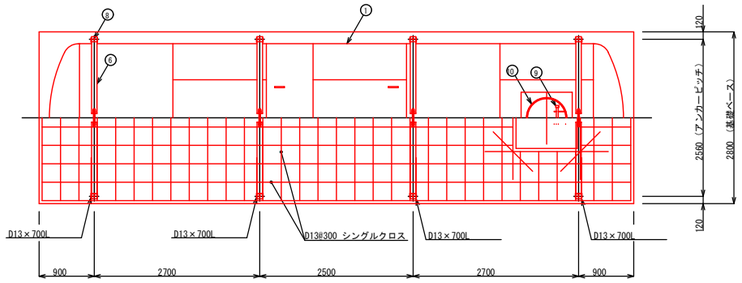
| 記号 | 径 | 長さ | 本数 | 単位重量 | 一本当り重量 | 質量(kg) | 重量(N) | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | D13 | 2700 | 29 | 0.995 | 2.687 | 77.923 | 763.65 | ――― |
| 2 | D13 | 800 | 8 | 0.995 | 0.796 | 6.368 | 62.41 | ――― |
| 3 | D13 | 9600 | 6 | 0.995 | 9.552 | 57.312 | 561.66 | ――― |
| 4 | D13 | 7680 | 4 | 0.995 | 7.642 | 30.568 | 299.57 | ――― |
| 5 | D13 | 830 | 4 | 0.995 | 0.826 | 3.304 | 32.38 | ――― |
| 6 | D13 | 700 | 8 | 0.995 | 0.697 | 5.576 | 54.64 | ――― |
| 7 | D13 | 2010 | 4 | 0.995 | 2.000 | 8.000 | 78.40 | ――― |
| 8 | D13 | 910 | 4 | 0.995 | 0.905 | 3.620 | 35.48 | ――― |
| 合計 | D13 | | | | 192.671 | kg | (1888.18 | N) |
| 総重量 | | | | | 192.671 | kg | (1888.18 | N) |

※ D13、SD295以上を使用
※ 鉄筋重量表は継手を考慮しない場合の重量としている。

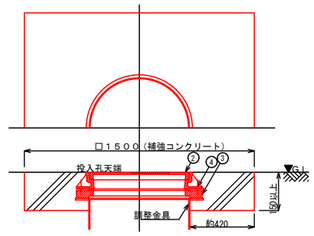
| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面番号 | 1／3 | 縮尺 | 図示 |
| 工 種 | 耐震性貯水槽新設工事 | | |
| 種 別 | 構 造 一 般 図 | 番号 | 1／1 |
| 路線<br>河川 名 | 田野浦第二公園 | | |
| 工事箇所 | 三原市田野浦二丁目 | | |
| 三 原 市 | | | |

| No. | 名　　称 | 材　　質 | 数 量 | 仕　　様 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 本体 | SS400 | 1 | t8×φ2400 | |
| 2 | 吸管投入孔鉄蓋 | 鋳鉄 | 1 | φ６００ | |
| 3 | 調整リング | ｺﾝｸﾘｰﾄ | － | φ６００ | |
| 4 | ﾏﾝﾎｰﾙ蓋ｷ調節ﾎﾞﾙﾄ、ﾅｯﾄ | ﾒｯｷ、ＳＳ４００ | － | M16 | |
| 5 | 保護ゴムシートＡ | ゴム | 4 | W120×t3 | 固定バンド用 |
| 6 | 固定バンド | ＳＳ４００ | 4 | ――― | |
| 7 | 保護ゴムシートＢ | ゴム | 1式 | W400×t9 | |
| 8 | アンカーボルト | SS400 | 8 | M24 | |
| 9 | 梯子 | FRP | 1 | ――― | 全長は埋設深さにより変わる |
| 10 | 調整金具 | SS400 | 1 | ――― | |

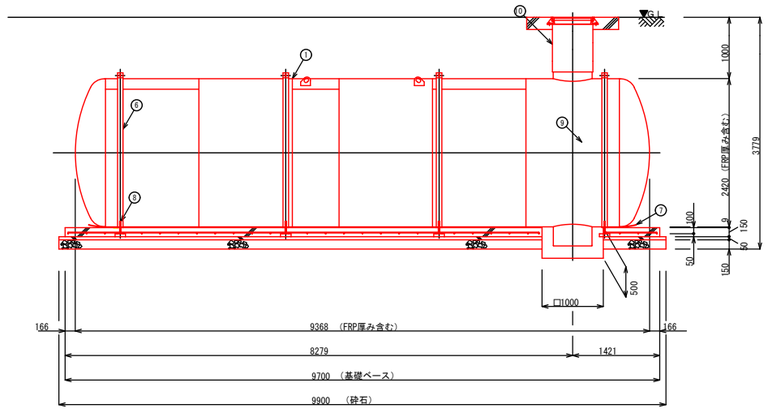
平面図

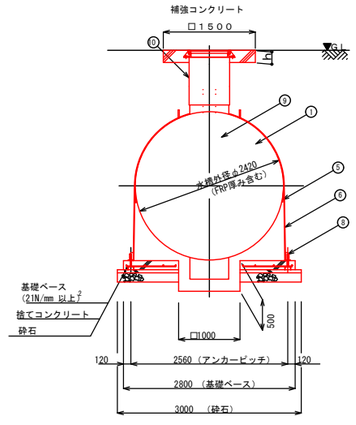



補強コンクリート部断面詳細
（マンホール受け有仕様　参考図）
(1/20)

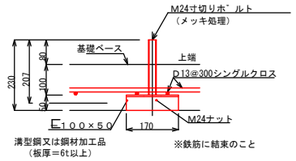



断面図



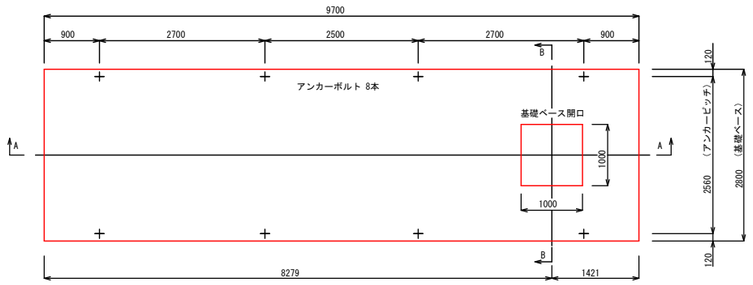




アンカーボルト詳細図
(1/10)



| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面番号 | 2／3 | 縮尺 | 図示 |
| 工 種 | 耐震性貯水槽新設工事 | | |
| 種 別 | 基 礎 図 | 番号 | 1／1 |
| 路線<br>河川 名 | 田野浦第二公園 | | |
| 工事箇所 | 三原市田野浦二丁目 | | |
| 三 原 市 | | | |

## 平面図

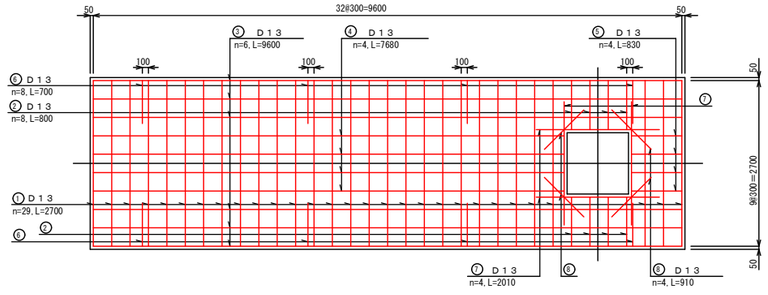



## 鉄 筋 重 量 表

| 記 号 | 径 | 長 さ | 本 数 | 単位重量 | 一本当り重量 | 質 量 (kg) | 重 量 (N) | 摘 要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | D13 | 2700 | 29 | 0.995 | 2.687 | 77.923 | 763.65 | ――― |
| 2 | D13 | 800 | 8 | 0.995 | 0.796 | 6.368 | 62.41 | ――― |
| 3 | D13 | 9600 | 6 | 0.995 | 9.552 | 57.312 | 561.66 | ――― |
| 4 | D13 | 7680 | 4 | 0.995 | 7.642 | 30.568 | 299.57 | ――― |
| 5 | D13 | 830 | 4 | 0.995 | 0.826 | 3.304 | 32.38 | ――― |
| 6 | D13 | 700 | 8 | 0.995 | 0.697 | 5.576 | 54.64 | ――― |
| 7 | D13 | 2010 | 4 | 0.995 | 2.000 | 8.000 | 78.40 | ――― |
| 8 | D13 | 910 | 4 | 0.995 | 0.905 | 3.620 | 35.48 | ――― |
| | | | | | | | | |
| 合 計 | | D13 | | | 192.671 | kg | (1888.18 | N) |
| 総重量 | | | | | 192.671 | kg | (1888.18 | N) |

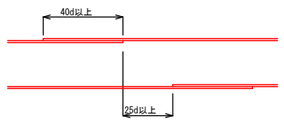
※ D13、SD295以上を使用
※ 鉄筋重量表は継手を考慮しない場合の重量としている。

## 配筋図



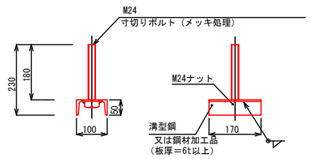

## 継手詳細

※継手長さは40d以上、隣合う継手の位置は25d以上とする。

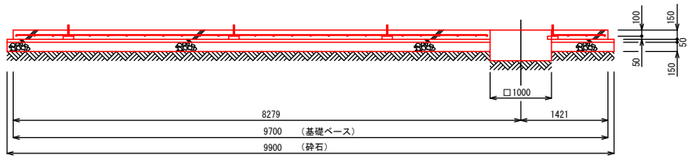



## アンカーボルト詳細図(1／１０)

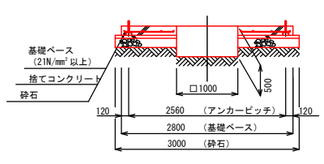
※鉄筋に結束のこと




## A-A断面図



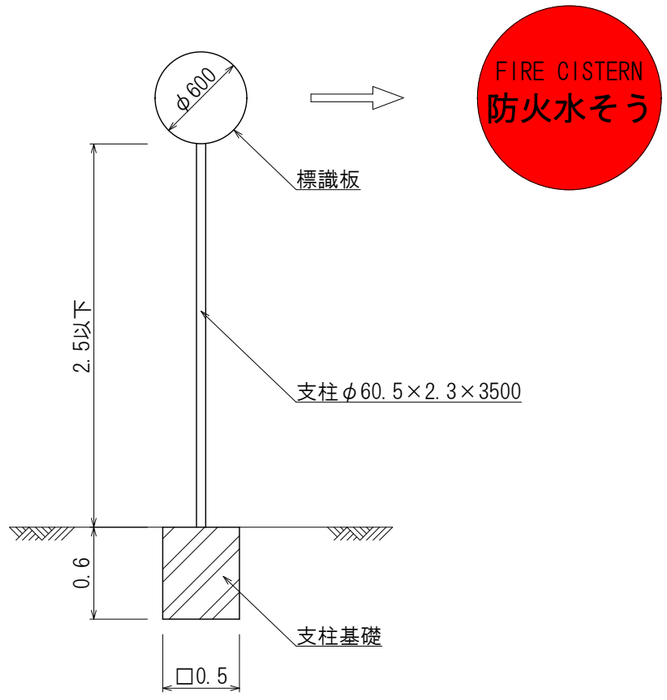

## B-B断面図



| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面番号 | 3/3 | 縮 尺 | 図示 |
| 工　種 | | | |
| 種　別 | 標識板構造図 | 番号 | 1/1 |
| 工 事 名 | 耐震性貯水槽新設工事（田野浦二丁目） | | |
| 工事箇所 | 三原市田野浦二丁目 | | |
| 三　原　市 | | | |

# 構 造 図

S=1:20



# 位　置　図

34.38229688370721, 133.04727574187032

この図は，国土地理院地図を使用したものである。